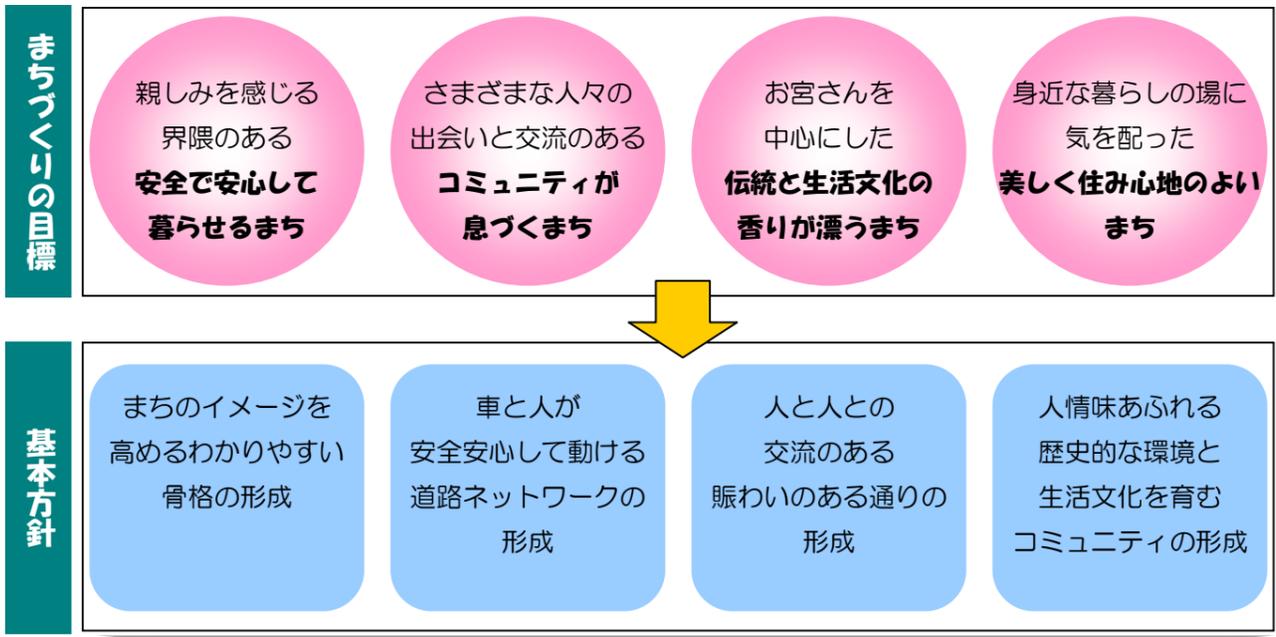
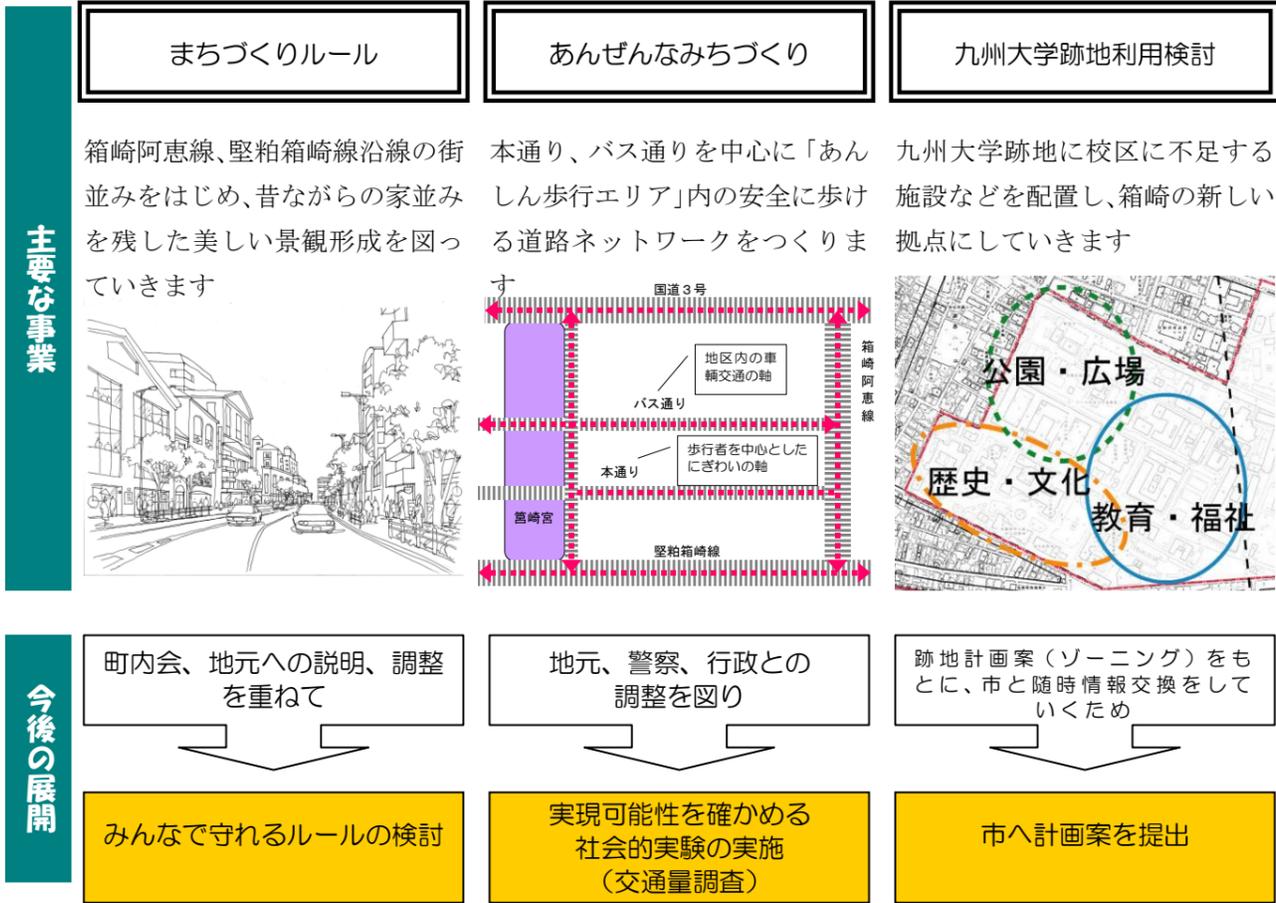


まちづくり計画 (案)



まちづくり構想図



箱崎まちづくり計画 (案)

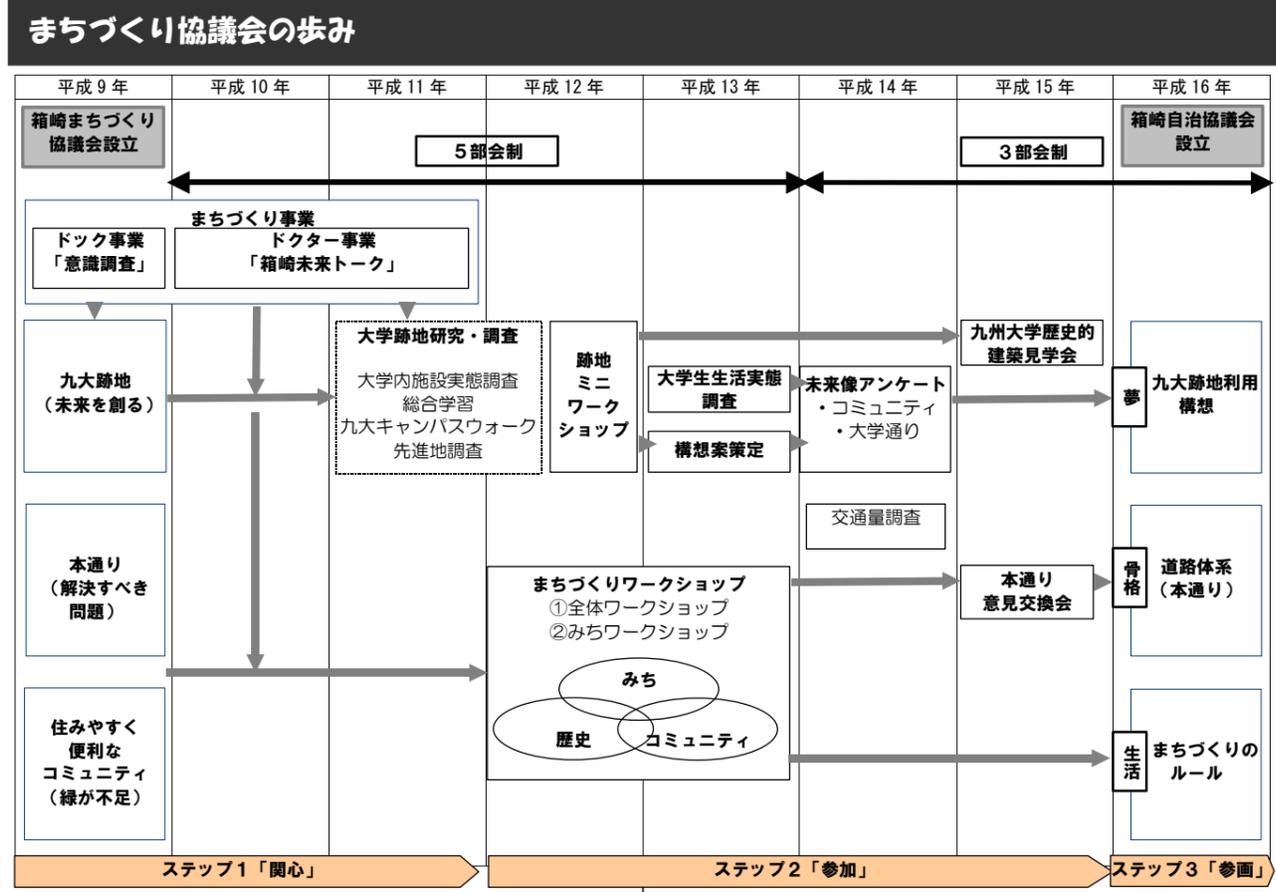
発行：箱崎まちづくり協議会 まち企画部会 平成 17 年 11 月
 TEL：651-7708（箱崎公民館内）FAX：643-0044

まちづくり活動の集大成「まちづくり計画 (案)」

箱崎校区は、平成9年にまちづくり協議会を設立し、九大移転に伴う跡地利用を皮切りに校区の課題を見つめ、みんなでまちの将来像を考える活動を始めました。協議会設立とともに、住民アンケートや意見交換会などを実施し、まちづくりに対する住民の多様な意見に耳を傾ける参加を実施してきました。その後、ワークショップを随時開催し、多くの住民の方々が参加する意見交換、議論を重ね、地区内の道路交通をはじめ、コミュニティに関する地域の課題を明らかにし、その解決方法を探りながら、まちづくりのあり方をとりまとめてきました。

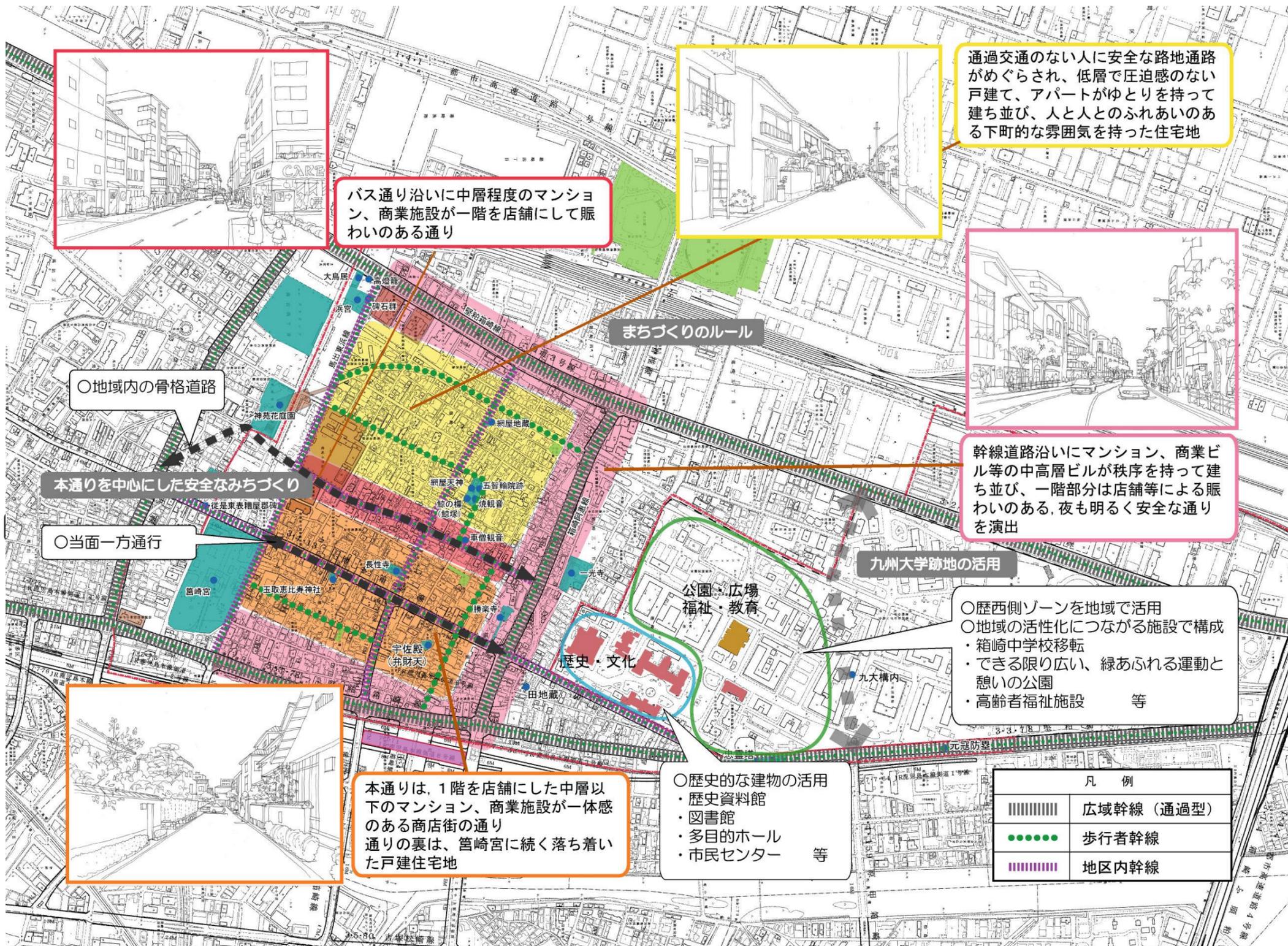
箱崎のまちとその周辺がJR鹿児島本線の高架化に伴う土地区画整理事業や新駅の建設、都市計画道路の整備により、大きく変貌を遂げつつあるなかで、こうした住民の自主的な活動を通して新たなまちの大きな方向性を示した「まちづくり計画 (案)」が協議会を中心にとりまとめられました。

当面の間、このまちづくり計画案にある、「まちづくり宣言」と「まちづくり構想」に基づいて必要な整備、活動を実施するとともに、様々なまちづくりの動きを調整していくことが期待されます。



まちづくり構想図

箱崎校区の将来像をまちの骨格、構想を主に示したものです。車と人が安全に安心して移動できる交通ネットワークと、個性的なまちのイメージをつくるゾーンを形成していきます。



まちづくり宣言

まちの歴史と資源を次代に引き継ぎ、新しいまちの魅力をつくっていくための心構えを示したものです。

箱崎は、古くは宮崎宮の門前町、糟屋郡の政治・経済の中心地、さらに明治以降は九州大学のある学問の殿堂のまちとして、1,000年以上の歴史を誇るまちです。

この1,000年余のまちの歴史とともに、沿岸漁業や近郊農業を営みながら暮らす住民と商店街、及び宮崎宮が三位一体となって特徴ある生活文化を培うとともに、人と人との結びつきを大切にきたままとまりのある地域社会をもつまちを形成してきました。

現在、JR鹿児島本線高架事業やそれに伴う宮崎土地区画整理事業により箱崎駅の移転開設、新たな幹線道路の整備が進み、歴史ある箱崎のまちを取り巻く環境が大きく変化してきています。こうした中、社会基盤の整備による利便性の向上により単身者向けマンションの建設や今後計画されている九州大学の移転に伴う学生の減少などが進み、箱崎に暮らす人々の構成の変化も予想されます。

箱崎に暮らす私たちこうした変化をまちづくりの契機と捉え、これまで受け継いできた伝統と文化あふれる環境や連帯感のある地域社会を基調にして、

- ① 緑豊かで美しく住み心地のよいまちづくりに取り組みます。
 - ② これまで箱崎に暮らしてきた人々とこれから住む人たちとの出会いと交流を深め、
 - ③ お互いにやさしく助け合い、まちづくりのマナーとルールを守り、
 - ④ 安全に安心して、みんなが誇りと愛着をもって暮らせる
- 箱崎のまちづくりを目指します。**

平成 17 年 2 月 27 日ワークショップにて